

様式第1号（第7条関係）

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和3年11月25日

和泉市長 あて

団体名 いずみの森の会

代表者名 浅見 峯一

所在地

電話番号

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	自然体験・工作体験事業
申請コース	(1) 公益活動支援コース ■チャレンジコース □ステップアップコース (2) 地域活性化コース □地域活性化コース
事業費総額	_____ 82,430 円 (うち、対象経費 _____ 81,430 円)
支援金 交付申請額	_____ 54,000 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい) ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	イズミノモリノカイ		
団体名	いずみの森の会		
団体の目的	本会は市民ボランティアによる森林の手入れ、健全な森林づくり活動を行い、併せて森林ボランティアや森林指導者の養成を行う。		
市内事務所の所在地			
	電 話		F A X
フリガナ	アサミ ムネカズ		
代表者氏名	浅見 峯一		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名)※ アサミ ムネカズ		電 話
	浅見 峯一		F A X
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	平成17年3月	主な活動地域	和泉市中部・南部
会報等の発行	有 (回発行) ・ 無	会員数	50人
メールアドレス			
ホームページ	http:// なし		
主な事業内容	和泉市林業協議会主催の市民ボランティアによる「和泉の国の森づくり」に2003年から参加。森林ボランティアの養成講座のお手伝いや自然観察会・工作体験を毎年開催している。		
主な活動の実績	山主さんの要望で主に南横山地域で30カ所以上の森林整備を15年以上参加しています。公園サポーターに登録して松尾寺公園と宮ノ上公園、かぐらざき公園で竹林整備を実施中。和泉市農林業祭や緑化フェアなどで工作体験を出店しています。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	無	無	無

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	自然観察体験・工作体験事業
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 ひと昔前は、生活必需品は里山で材料を調達して自分たちで製作して使用していました。今は大量生産の時代で自然の恵みを利用して製作することが減っています。竹ポックリやドングリの駒など簡単な工作で自然の恵みを利用することや楽しむことを伝えます。公園サポーターの活動で伐採した竹のほとんどは焼却処分されています。伐採した竹の一部を利用することも取り組んでいます。	
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 工作体験を通じて、子どもたちに作る楽しみや面白さを伝えることで、創造性豊かな子どもの育成に寄与します。 工作体験をした子どもは竹ポックリやカエルを親に自慢しています。自分だけの完成品にうれしそうな顔をします。その顔が素晴らしいです。 子どもたちに自然の素材を利用して作る楽しみや面白さを知ってもらい、天然資源の豊かさを実感してもらおう。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
① 問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 一般の家庭では、身近な材料で簡単な工作できると思うのですが道具や細かな材料を揃えるのにお金と時間が必要です。各種団体が開催するイベントで、公園整備で伐採した竹やドングリを採取して工作体験やドングリコマ作りを出店して工作の面白さを体験できる機会を提供します。	
② 実施期間（日時）	6月から11月 （和泉市主催のイベント（農林業祭・緑化フェア）や独自に体験会を開催する）
③ 実施場所	宮ノ上公園、いずみ中央公園、内田町河川公園、その他
④ 主な対象者	子ども及び親子連れの家族
⑤ 参加予定者数	不特定（イベントの来場者に体験してもらう） 体験者数の予想、竹ポックリの体験者数150人、竹カエル250人、どングりの駒づくり250人
⑥ 告知方法	イベントの出店が決まれば図書館や公共施設にチラシの掲示を依頼します。イベント会場で看板設置。

5 事業スケジュール	
次期（月）	内容
6月	内田町ホタルの観察会出店（ノコギリ体験、竹カエル）
9月	植物観察会（木の名前を覚えよう and 手作り工作）
10月	緑化フェア出店（どんぐりの工作、竹カエル）
11月	農林業祭出店（ノコギリ体験竹カエル、竹ポックリ）
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 （実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）	
① 公益性	森林や公園の整備をした時に色々な廃棄物が発生します。そのまま、積んでおけば腐敗して植物の栄養源になり生物循環します。少しでも材料をいただいて、子どもたちの工作の材料に利用しています。子どもたちに作る楽しみや面白さを伝えることで、創造性豊かな子どもの育成に寄与しています。
② 継続性	いずみの森の会は農林業祭に工作体験を10年以上出店しています。他のイベントに出店する機会も増えていきます。いずみの森の会に毎年新しい会員が入会し、森林整備や竹林整備を通じて工作技術が上達する方もいます。子どもたちと工作するのが好きな会員も多く、これからも工作体験の機会を増やしたいです。
③ 実行性	いずみの森の会は市民ボランティアの集まりですが、発足してから18年間活動を継続しています。森林整備や公園整備を毎年20回以上実施し、1年間に参加するボランティアは延べ400名以上です。また、10年以上継続して活動しているベテランさんも多いです。
④ 協働性	工作体験・自然観察会は和泉市林業協議会と和泉市公共施設管理公社、内田町ボランティア蛸の会と連携して実施しました。工作体験の参加者で森林ボランティア活動や自然体験に興味を示し、活動に参加される方もいます。
⑤ 公開性	会が主催する工作体験は公共施設にチラシの掲示を依頼します。各種団体が主催する大きなイベントに出店する時は主催団体のチラシに掲載されることもあります。また、出店時には看板を設置して宣伝しています。
⑥ 発展性 （先駆性・ 展開性） （集客性）	現在は、各種団体のイベントへの出店ですが、今後は独自イベントの回数を増やしたいです。また、竹を利用した工作のバリエーションを増やして工作の面白さを伝えたいです。

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： 自然観察体験・工作体験事業

1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	54,000円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入		
募金・寄付	10,000円	工作体験者からの募金・寄付
物品販売	8,000円	工作物販売
自主財源	10,430円	会員の寄付
合計	82,430円	

2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
旅費	9,750円	交通費
消耗品費	57,180円	動眼、ヒートン、ボンド、紐、マーカー、サンドペーパー、テープ、ボンド、針金、ノコギリ、爪楊枝、ディスクグラインダー、消毒液等、体験時必要な消耗品
印刷製本費	9,600円	資料（A4カラー10ページ30部）、チラシ（A4白黒60部）等印刷代
役務費	900円	保険代
原材料費	4,000円	樹名板用木材
印刷製本費（対象外経費）	1,000円	スタッフ打合せ資料
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合計	82,430円	
対象経費	81,430円	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。